

# 隣保館等の概要と地区の状況について

(橋岡地区)

## I 隣保館等の概要について

### 1 活動の特徴

橋岡会館は、1971年（昭和46年）に設置されて以来、今日まで、同和問題の解決・部落の完全解放を目指す拠点として、様々な事業に取り組んできた。

当地区は混住率が大変高く、まずは転入者に正しく同和問題を理解していただき、地区内では差別のない安心して暮らせる町づくりを目指して、地区内を対象とした事業の展開を行ってきた。

しかしながら、生活環境の改善は進み、教育力も向上し、転入者における同和問題の理解も徐々に広がっているものの、全員の理解までは至っていない。

また、隣保館がリニューアルオープンしたことにより、平成20年度から事業対象の多くを学区へと広げ、開かれた隣保館として事業展開を行い、地区内・地区外の住民同士のふれあいから、同和問題の根幹である偏見を取り除き、同和問題の解消に向けた取り組みを行っている。

一方、地域においては、混住化が一層進む中、新旧住民の連帯・交流がより深まるよう各種団体の支援を行っている。また、子ども達には、学力を保障し、仲間づくりを大切にしながら、地域の教育文化水準を高めるとともに差別に負けず生き抜く力をつけるための取り組みに力を入れている。

### 2 施設の概要

名 称	橋岡会館
所 在 地	草津市橋岡町71
開 館 時 間	8:45～17:30
規 模 ・ 構 造	建物面積 1F 547.53㎡ 2F 422.85㎡ (平成19年3月改築) 構 造 鉄骨2階建
事業開始年月日	昭和46年4月1日

名 称	橋岡教育集会所
所 在 地	草津市橋岡町68
開 館 時 間	8:45～17:30
規 模 ・ 構 造	建物面積 253㎡ 構 造 鉄骨造平屋建
事業開始年月日	昭和55年5月15日

### 3 職員の配置状況

職 名	人 員	勤 務 形 態					備 考
		正 規	嘱 託	臨 時	常 勤	非 常 勤	
館 長	1	○			○		
事 務 職 員	2	○			○		
教 育 職 員	2	○			○		
保 育 職 員	1	○			○		
用 務 員	1	○			○		
社会教育指導員	1		○			○	
職業安定協力員	1		○			○	
健康福祉推進員	1		○			○	
計	10	7	3		7	3	

#### 4 事業内容

事業区分	事業名称	事業内容	対象者	
			地区内のみ	近隣を含む
連絡調整に関する こと	橋岡会館運営委員会	同和地区内における同和行政の総合的かつ計画的な推進をはかるための隣保館等の運営に関する協議		○
	保、幼、小、中教育担当連絡会	教育推進に係る連絡調整		
	湖南ブロック地域総合センター連絡協議会	湖南4市の地域総合センターの業務全般にかかる連絡協議、研修		
	湖南地区職業対策担当者連絡協議会	湖南地区内の職業対策担当者(職安、県南部環境・総合事務所、年金事務所等)が相互に連絡・協力し、情報収集や研修		
	草津市・学区同和教育推進協議会	同和教育の推進徹底を期するために必要な事項を協議し、研修会等具体的な活動を行う。		
相談事業に関する こと	健康相談	健康増進課保健師による相談 毎週金曜日午前中・偶数月に夜間1回		○
	職業相談	随時職業安定協力員による職業、就労等に関する相談		○
	教育相談	随時教育担当職員による教育や進路等に関する相談		○
	その他の相談	随時納税、年金、福祉、人権、生活相談等		○
調査及び研究に関する こと	調査及び研究事業	会館事業を通して、地域住民のニーズや動向の把握に努めている。	○	
	老上学区子ども輝き人権教育推進会議	老上中学校区の保、幼、小、中、高、会館教職員が重い課題をもった児童生徒の生活と学力を高め、進路指導の充実を図るための調査、研究、研修		○
自主的活動の育成に関する こと	各種団体の育成指導	地域の各種団体の自主性を啓発しながら地域課題を自ら解決していくよう各団体の日常活動行事に必要なに応じて協力指導し、団体育成に努めることにより、地域全体の生活文化の向上や住みよいまちづくりをめざしている。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 橋岡町自治会</li> <li>・ 橋岡町同和事業促進協議会</li> <li>・ 部落解放同盟橋岡支部</li> <li>・ 橋岡町解放子ども会育成会</li> <li>・ 橋岡町老人クラブ</li> <li>・ 橋岡町自主防災会</li> <li>・ ソフトバレーボールクラブ</li> <li>・ カラオケサークル</li> <li>・ 生活安定資金利用者組合</li> </ul>	○	

教育、文化の向上及び地域交流に関すること	自主活動学級	自主活動学級は、地域の児童生徒の実態に即して、自主的、自発的な学習の促進や、生活態度の向上に資する機会を設けることにより、部落を解放する意欲と実践力を培うことを目的とする。 <ul style="list-style-type: none"> <li>小学生自主活動学級 毎週木曜日</li> <li>小学生夏期集中学習会 夏休み中 16回</li> <li>中学生自主活動学級 毎週水曜日</li> <li>中学生夏期集中学習会 夏休み中 14回</li> </ul>	○	
	進学教室	中学2、3年を対象にして、進路の実現に向けて、力をつけるために学習教室での学習に加えて自主学習をすすめたり、進路への意欲を高める。 2学期より毎週火曜日 集中勉強会 11月以降3日間を2回実施	○	
	定期講座	生活知識、技術の習得を図り、教養を高めるとともに、受講生相互の連帯を高め、交流を深めながら同和問題についての理解と認識を深めることを目的とする。 書道、生花 通年開催	○	○
	その他の講座	パソコン、くらしの講座、ふれあい料理教室、お正月準備講座 年間随時開催	○	○
	福祉と人権講座	地域の福祉と人権に関する意識の高揚を図り、将来において安心して暮らせるまちづくりを推進する。 (年3回)		○
	子育て講座	保育所や幼稚園に在籍していない子どもの集団遊びを設定し、保護者間のつながりをつくりながら子育ての支援をする。 毎月第2、第4木曜日に実施	○	○
	土曜ひろば	5歳児から小学6年生までの縦のつながりをつくり出すことを目的に、子どもたちが楽しく活動できる遊びや活動をする。 毎月第1、第3土曜日に実施	○	
	部落問題学習合宿	小学4年生から中学3年生を対象に、会館で寝食や活動など合宿生活を共にしながら部落問題の学習をする。1泊2日	○	

	夏期若狭合宿	小学1年から中学3年生を対象に、国立若狭青少年自然の家で自然の中での活動をとおして楽しいことも厳しいことも協力しながら活動する共通体験を積む。1泊2日	○	
	雪遊び・スキー教室	5歳児から中学2年生を対象に、普段の生活にない厳しい冬の自然の中で、最後まで仲間と共に活動しきる体験をする。	○	
	解放文化祭	ステージ発表や会館講座作品の展示、模擬店等を通じて、住民の交流を図り、解放意識の高揚や地域の連帯感を高める。	○	
啓発及び広報活動に関すること	会館だよりの発行	毎月1回定期的に発行し、地域住民の人権意識の高揚を図る。	○	
社会福祉の増進等に関すること	隣保館デイサービス事業	高齢者・障害者等の生きがいづくり、健康の維持増進、介護予防を目的として実施。 ・講座 編物・カラオケ・サロンの開催・給食配食事業等		○
		・健康機器の設置 ヘルストロン、マッサージ機、 血圧計等の設置		○
	健康相談（再掲）	健康管理課保健師による相談 毎週金曜日午前中、偶数月の夜間1回	○	
就労の安定に関すること	職業相談（再掲）	随時職業安定協力員による職業、就労等に関する相談		○
	職業指導	就職希望者、失業者や不安定就労者に対する求人情報の提供と指導		○

## 5 隣保館等の利用状況

H20年度

教室・講座実施回数	193回	教室・講座参加者累計	3,709人	うち町外 435人 一部不明
自主活動学級等実施回数	219回	自主活動学級等参加者累計	6,952人	
地区団体利用回数	106回	地区団体利用者累計	2,378人	
貸館利用回数（地区外団体等）	52回	貸館利用者累計	1,856人	
		相談累計件数	2,149件	うち町外 人
		健康ルーム・サロン等利用者累計	7,026人	うち町外 人

H21年度

教室・講座実施回数	226回	教室・講座参加者累計	2,794人	うち町外 491人 一部不明
自主活動学級等実施回数	207回	自主活動学級参加者累計	5,412人	
地区団体利用回数	138回	地区団体利用者累計	2,085人	
貸館利用回数（地区外団体等）	175回	貸館利用者累計	3,178人	
		相談累計件数	3,203件	うち町外 人
		健康ルーム・サロン等利用者累計	5,220人	うち町外 1,566人

H22年度

教室・講座実施回数	225回	教室・講座参加者累計	3,732人	うち町外 491人 一部不明
自主活動学級等実施回数	213回	自主活動学級参加者累計	5,222人	
地区団体利用回数	216回	地区団体利用者累計	3,725人	
貸館利用回数（地区外団体等）	90回	貸館利用者累計	1,378人	
		相談累計件数	4,307件	うち町外 人
		健康ルーム・サロン等利用者累計	5,600人	うち町外 1,271人

6 隣保館の課題

混住化が進む中、新住民にあっては、子どもの事業である自主活動学級等への参加が年々減少してきた。また、学年が上がるにつれ、この傾向は強く、学力中心の考えが保護者にある。事業の目的の一つでもある差別に負けない、差別をなくしていく、命を大切にする仲間づくりの重要性や地域の願いが保護者には理解されていないものがある。

事業を町内から学区へと広げる中、正しく同和問題の理解を広げていこうとするものであるが、同和問題が自分のものとして受け止められる啓発が必要である。

## II 地区の状況について

### 1 地区の概要

橋岡町は、草津市の西郊に位置している。1974年(昭和49年)に近江大橋の開通、および1977年(昭和52年)に市街化区域に編入されたことに伴い、交通の利便性から近隣地域をはじめ橋岡町内会においても宅地開発が急速に進み、更に1994年(平成6年)3月には立命館大学びわこ・くさつキャンパスが開学し、同年9月にはJR南草津駅が開業し、駅周辺地域における開発が進み、都市化が一層進むこととなった。

その結果、1982年(昭和57年)に106世帯であったものが、2011年(平成23年)4月には579世帯にまで急増した。

橋岡町においても、こうした影響を受け、更に混住化が進んでいる。特に近年は、マンションの建設もあいつぎ、入居者の自治会への未加入や自治会活動への不参加等、住民間の疎遠があり、新たな課題も生じている。

こうしたなか、自治会を中心とした新旧住民が一体となり、子ども神輿の復活や夏祭りの開催。また、町別懇談会や左義長等各種の事業において地域ぐるみの活動が展開されている。

### 2 世帯数・人口の推移

	平成18年	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年
世帯数	(362世帯)	(370世帯)	(377世帯)	(538世帯)	85世帯 (570世帯)	84世帯 (579世帯)
人口	(993人)	(1,002人)	(1,034人)	(1,183人)	233人 (1,214人)	231人 (1,223人)

※上段は同和関係者の世帯数・人口 ( )内町内域全体の世帯数・人口

### 3 地区内団体の活動状況

団 体 名	活 動 内 容
橋岡町自治会	転入者が急増する中で、地域の生活文化の向上、福祉の増進、環境美化、住民の交流活動等を実施し、住みよいまちづくりに取り組んでいる。 自治会だよりの発行、町内清掃、子育てサロン、ふれあいサロン、研修会
橋岡町同和事業促進協議会	地域の同和事業の促進を図り、町づくりを推進するとともに、解放意欲、自主自立意欲を向上させる事業を展開している。 子どもの学力向上のための研修、解放文化祭、ニュースポーツ大会
部落解放同盟橋岡支部	支部には、女性部、青壮年部などが組織され、部落差別の解消、部落の完全解放のための活動を実施している。
橋岡町老人クラブ	ゲートボール、カラオケ、親睦会、旅行、町内清掃等を開催し、会員相互の親睦および町内環境整備の活動をしている。
橋岡町解放子ども会育成会	野外活動、体験学習をはじめ、町内の人たちとの交流事業として、夏まつり、左義長、資源回収等を実施し、年齢を越えた仲間づくりや連帯感の高揚、健全育成に努めている。
橋岡町PTA	校種別に保護者と懇談する中で、差別に負けない子どもを育てるため、子育てのあり方、地域の教育力向上のための活動を実施している。 奉仕作業、研修会等実施
橋岡地区生活安定資金利用者組合	資金の運用を通じて、同和対策事業に対する理解と認識を深め、学習会により連帯感の向上と生活の安定を図り、組合員の自主自立に努めている。
橋岡町自主防災会	定期的に消防訓練を実施し、町内住民の生命と財産を守ることに寄与している。

ボランティアグループ「灯」	高齢者の方を対象に、給食や配食の実施・サロンの開催等、高齢者の生きがいをづくりや楽しみ、昼間独居老人の解消等に努めている。
---------------	---

#### 4 教育の状況

##### (1) 中学生の進路状況

	平成19年3月卒	平成20年3月卒	平成21年3月卒	平成22年3月卒	平成23年3月卒
卒業者数	1(8)人	2(13)人	3(11)人	1(11)人	3(12)人
高校進学者	0(7)人	1(12)人	3(11)人	1(10)人	3(12)人
就職者	1(1)人	1(1)人	0(0)人	0(1)人	0(0)人
その他	0(0)人	0(0)人	0(0)人	0(0)人	0(0)人

就職者には、高技専も含む

※( )内調内域全体の人数

##### (2) 高校生の進路状況

	平成19年3月卒	平成20年3月卒	平成21年3月卒	平成22年3月卒	平成23年3月卒
卒業者数	1人	1人	2(10)人	0(8)人	1(12)人
大学・短大進学者	1人	1人	2人	0人	0人
専修・各種学校進学者	0人	0人	0人	0人	0人
就職者	0人	0人	0人	0人	0人
その他	0人	0人	0人	0人	1人

※( )内調内域全体の人数

##### (3) 高校中退者

	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
中退者数	0(1)人	0人	0人	0人	0人

※( )内調内域全体の人数

##### (4) 自主活動学級の状況

	小学生		中学生
	低学年	高学年	
学 力 向 上	学習教室、夏期集中学習会での学習活動	同左	学習教室、夏期集中学習会の他、2、3年及び3年のみの学習活動
仲 間 づ くり	学習教室後半のゲーム活動などを通して	学習教室 親の労働や生い立ちの聞きとりなどを通して	教科書学習の後半や年数回のレクレーション活動を通して
そ の 他	人権学習や解放文化祭に向けた活動	同左 他地区の小学生との交流	人権学習や解放文化祭に向けた活動

指 導 者 （他 職 員 加 職 員 大 学 生 教 員 O B 婦 母 等）	小学校職員 教育集会所職員	同左	中学校職員 教育集会所職員
---	------------------	----	------------------

## 5 地域福祉・保健衛生の状況

区 分	地区内		市全体
	平成10年	平成22年	平成22年
生活保護世帯数 （生活保護率）	（4）世帯 （1.50%）	3（6）世帯 3.57%（1.03%）	532世帯 0.6%
母子・父子世帯数	（4）世帯	3（15）世帯	885世帯
身体障害者（児）数	— 人	— 人	3,375人
65歳以上老人数	（81）人	62（139）人	21,399人
独居老人数	（13）人	13（17）人	4,031人
独居老人率	（16.0）%	20.9%（12.2%）	18.8%

※（ ）内 町内域全体の人数

## 6 就労の状況

### （1）若年層の状況

近年の新規学卒者等では、経済環境が非常に厳しい状況であるが、不安定就労者や不就労者は少なく、ほとんどが会社勤めである。青年層でも同様であるが、一部自営業の方もおられる。また、正社員が多数を占めるが嘱託社員や家事の都合によりアルバイトの就労もある。

### （2）中高年層の状況

一部には資産運用による事業経営や自営業の方もおられるが、ほとんどが会社員である。また、兼業農家数も少なく農業も飯米農家や自家菜園が中心である。リストラ等転職の方ほど再就職は契約社員・期間社員・アルバイト等不安定就労が多い。

## 7 地区の課題

### 【生活・福祉】

- ・高齢化率・要介護認定率・身体障害者等の比率が市内平均と比べ高くなっている。特に開発された住宅については、2世帯同居が難しい構造でもあることから、今後ますます高齢化率が高まることが予想され、地域ぐるみの支えあいの町づくりが必要となる。

### 【教育】

- ・長期欠席の児童・生徒については解消されたが、今後も見守る必要がある。また、低学力の児童・生徒については、隣保館や校園所が引き続き連携し、課題解決に向けた取り組みが必要である。
- ・混住化が進む中、保護者の同和問題や同和教育に対する意識の差があり、隣保館事業や教育集会所事業で積極的な啓発を行っていく必要がある。

### 【就労】

- ・若年層や青年層においても病気や怪我等で一旦離職した場合、途中入社の上社員としての安定就労の再就職は厳しいものがある。
- ・中高年層にあつては、安定就労者もいるが、リストラ・倒産・給料の激減等により、やむなく転職に至る場合がある。安定就労に結びつけていきたいが、パソコン技術や学歴、特段の資格や特技等もないことが多く、経済環境の悪化の影響もあり、期間限定や派遣業、アルバイト等といった不安定就労に陥りやすい。高齢者ほど安定就労への再就職は厳しいものがある。

### 【その他】

- ・特別措置法以来、今日までの様々な取り組みの結果地域の環境は改善され、就労・教育・福祉の分野においても改善がされ、ほぼ一般地域との較差は是正されてきた。  
しかしながら、地域福祉と人権のまちづくり実態調査でも明らかなおお、一般地域とを比較すると就労率はあまり較差がないが、収入面では依然として較差がある。また、就労形態も正社員が少なく、厚生年金の加入者も少ない状況である。